

仙台高等専門学校		開講年度	平成27年度 (2015年度)		授業科目	建築構造学Ⅱ B	
科目基礎情報							
科目番号	0042			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	建築デザイン学科			対象学年	5		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材							
担当教員	佐藤 健						
到達目標							
鉄骨部材の検定に引き続き、接合部の設計ができるようになる							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	4年次の建築構造学Iで学習した鉄骨構造の部材の力学に引き続き、本科目では、鉄骨構造の接合部の設計法を学ぶ。						
授業の進め方・方法							
注意点							
授業計画							
後期	3rdQ	週	授業内容			週ごとの到達目標	
		1週	接合部の概要			鉄骨構造の接合法	
		2週	ボルト接合			せん断と側圧の関係がわかる	
		3週	高力ボルト接合			高力ボルトのしくみがわかる	
		4週	高力ボルト接合			高力ボルトの耐力算定	
		5週	溶接接合			溶接の種類と溶接記号がわかる	
		6週	溶接接合			すみ肉溶接の耐力算定	
		7週	溶接接合			突合せ溶接の耐力算定	
	8週	演習			演習により理解を深める		
	4thQ	9週	はり継手の設計			継手板とHTBの算定がわかる	
		10週	柱継手の設計			継手板とHTBの算定がわかる	
		11週	演習			演習により理解を深める	
		12週	柱脚部の設計			ベースプレートとアンカーの算定がわかる	
		13週	柱梁接合部の設計			接合部の溶接の検定がわかる	
		14週	演習			演習により理解を深める	
		15週	期末試験			理解度の確認	
16週		答案の返却			解答の解説		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	100	0	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0